（様式１）
報道資料提供

共創による新しい価値の創造
HANNAN
SDGs未来都市

解禁日時：メール到着後

提供日	令和　　8　年　10　月　21　日　（　水　）
タイトル	市の将来ビジョン『阪南2050』を策定しました！
内容	このたび、阪南市では、2050年を見据えたまちづくりの将来ビジョン「阪南2050」を策定しました。 　人口減少や少子高齢化、公共施設の老朽化対策など、本市が直面するさまざまな行政課題に対応しながら、将来にわたって市民の皆さまが「住み続けたい」と感じ、市外からも「選ばれるまち」となることをめざし、未来への針路を「阪南2050」として示しました。 　「阪南2050」では、本市が最重点で取り組む4つの骨格ビジョン（実現したい未来）を、進むべき方向を示す「COMPASS（コンパス）」として位置付けています。 　今後は、市民の皆さまと未来のビジョンを共有しながら、「住みやすいまち 憧れのまち阪南」の実現に向け、各種取組を着実に進めてまいります。 記 【阪南2050】 COMPASS01：子育て拠点再構築第3ステージ COMPASS02：市役所周辺まちづくり COMPASS03：東鳥取地域まちづくり COMPASS04：小中学校体育館エアコン設置
市長 コメント	【市長コメント】 　2050年、本市の人口は約3万人となり、まちの姿も大きく変わります。だからこそ、今、未来を見据え、めざすべき「まちのビジョン」を明確に示すことが必要です。そして、市民の皆さんの想いに寄り添いながら、スピード感をもって一つひとつ着実に実行していきます。 　「阪南2050」は『住みやすいまち 憧れのまち阪南』を実現するための旗印であり、まちの魅力と価値を高め、未来への針路を切り拓くためのビジョンそのものです。 　さあ行こう阪南市！
添付資料	阪南2050
担当課	阪南市　未来創生部企画課　矢島・太田・人見 電　話　072-489-4585(直通)

阪南市報道資料

令和8年 10 月 21 日
阪南市未来創生部企画課

市の将来ビジョン『阪南 2050』を策定しました！

このたび、阪南市では、2050 年を見据えたまちづくりの将来ビジョン「阪南 2050」を策定しました。

人口減少や少子高齢化、公共施設の老朽化対策など、本市が直面するさまざまな行政課題に対応しながら、将来にわたって市民の皆さまが「住み続けたい」と感じ、市外からも「選ばれるまち」となることをめざし、未来への針路を「阪南 2050」として示しました。

「阪南 2050」では、本市が最重点で取り組む 4 つの骨格ビジョン（実現したい未来）を、進むべき方向を示す「COMPASS（コンパス）」として位置付けています。

今後は、市民の皆さまと未来のビジョンを共有しながら、「住みやすいまち 憧れのまち阪南」の実現に向け、各種取組を着実に進めてまいります。

記

【阪南 2050】
COMPASS01：子育て拠点再構築第3ステージ
COMPASS02：市役所周辺まちづくり
COMPASS03：東鳥取地域まちづくり
COMPASS04：小中学校体育館エアコン設置

《問い合わせ》
担当：未来創生部企画課　矢島・太田・人見
電話：072-489-4585(直通)
Mail：seisaku@city.hannan.lg.jp

阪南2050

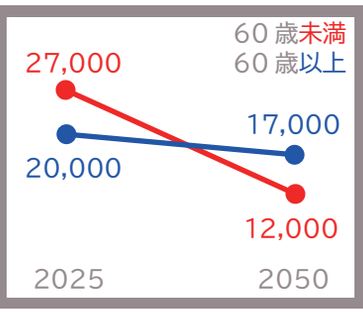
ニーゼロゴーゼロ

ミライへの針路を、ともに。

令和8年10月　阪南市

阪南市骨格ビジョン「阪南 2050」

背景：2050 年の阪南市
社人研推計では人口 30,000 人、
60 歳以上の人口はあまり変わらず、
子どもも含めた 60 歳未満の人口が半減する。



目的

- 市民に寄り添い、「住みやすいまち 憧れのまち阪南」を実現する
- ビジョンを共有し、 次世代へつなぐまちをつくる
- まちの価値を高め、 人口減少を抑制する
- 公共施設の量を減らし、 次世代の負担を軽減する

阪南2050 ミライへの針路を、ともに。

COMPASS 01

子育て拠点再構築第３ステージ

ミライへの針路

子ども子育てまんなかのまち。
公・民が連携し
子育て支援環境をはぐくむまち。
公立のセーフティネット機能を確立し、
魅力ある公立認定こども園の整備。
子育てするなら阪南市。



イラストはイメージです

骨格方針

・東鳥取地域に
公立認定こども園を新設

・令和15年度供用開始

同時に考えること

・新園の場所、 機能、 規模、
工程、 財源

・施設運営、 地域活動との関係

・子育て支援環境のあり方

2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	2036 R18	2037 R19	2038 R20	2039 R21	2040 R22	2041 R23	2042 R24	2043 R25	2044 R26	2045 R27	2046 R28	2047 R29	2048 R30	2049 R31	2050 R32
	調整・設計・工事						供用開始																	
		策定		第４期子ども・子育て支援事業計画																				

阪南2050 ミライへの針路を、ともに。

COMPASS 02

市役所周辺まちづくり

ミライへの針路

市役所周辺は市の玄関口、シンボル。
民間活力を導入し、
ひとつなぎ阪南の中心地として
にぎわいを創出しよう。
そして、
「まちの価値」を最大限に引き上げよう。



骨格方針

・市役所周辺のまちづくりに
民間活力を導入し活性化

・対象区域、体制、事業手法を
決定

・公園、マルシェ等の
市民が憩える空間創出

同時に考えること

・旧駐輪場跡地、サラダホール
駐車場の有効活用

・駐車場のあり方（有料化含む）

・阪南まもる館の更なる活用

・市民活動と拠点のあり方



イラストはイメージです

2026 R08	2027 R09	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	2034 R16	2035 R17	2036 R18	2037 R19	2038 R20	2039 R21	2040 R22	2041 R23	2042 R24	2043 R25	2044 R26	2045 R27	2046 R28	2047 R29	2048 R30	2049 R31	2050 R32
設計	工事			本庁舎耐震									本庁舎のあり方検討（利用目標 2045 年）									本庁舎建替		
市役所周辺まちづくりの検討								市役所周辺まちづくり事業																

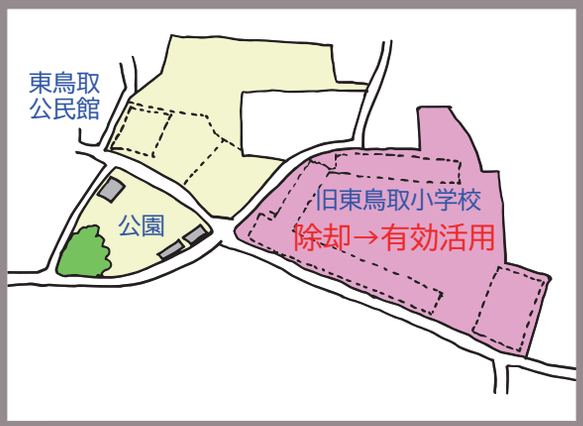
阪南2050 ミライへの針路を、ともに。

COMPASS 03

東鳥取地域まちづくり

ミライへの針路

阪南市はこれまで
社会教育、 文化、 交流を大切にし、
まちづくりを進めてきました。
改めて東鳥取地域を
それらの中心として、
みんなの力で活性化させよう。



骨格方針

・公民館を含む「学び、 文化、
交流、 コミュニティ機能」 を
備えた拠点整備

・地域の記憶を継承しながら
旧東鳥取小学校を除却し、
跡地有効活用

・文化財移転集約

同時に考えること

・地域ワークショップ実施

・民間活用によるマルシェ、
交流スペース等の確保

・歴史・文化財の展示機能

・交通アクセスの検討



阪南2050 ミライへの針路を、ともに。

COMPASS 04

小中学校体育館エアコン設置

ミライへの針路

子どもたちの熱中症対策を
はじめとする
学校環境の改善と、
避難所の環境改善を図るための
小中学校体育館へのエアコン設置



イラストはイメージです

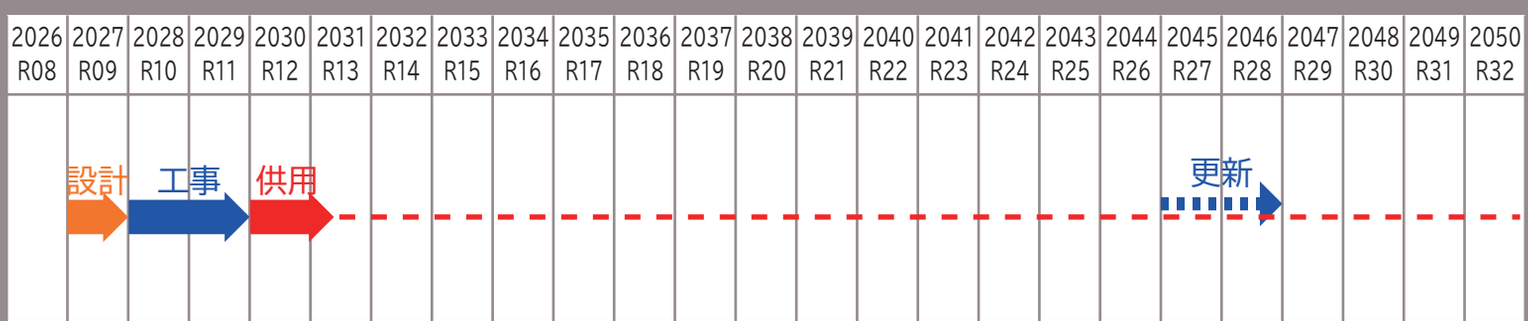
骨格方針

・小中学校体育館エアコン設置

同時に考えること

・災害対応

・財源の確保



阪南2050 ミライへの針路を、ともに。